

第3回 FD 研究会
初年次教育

2010年3月3日(水) 文責 達 富 洋 二

1. はじめに

本学では、2010年度より、全学共通シラバスにより初年次教育を行うこととなった。それに先立ち、初年次教育検討委員会を設け、シラバスの作成について検討を行った。

検討委員会では、基本的に全学共通の「初年次教育（入門ゼミ）統一シラバスの基本的なかたち」を作成することが共通理解され、次のようなものを原案とし、それぞれにシラバスを作成することとなった。

2. 初年次教育（入門ゼミ）統一シラバスの基本的なかたち

2.1 授業のテーマ

大学での「学び」を考え、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

2.2 授業の概要

＊ ＊学科の教育内容を理解するとともに、大学で自律的に学ぶことを見通し、基本的な学び方（課題に応じた情報や文献の検索、読解及び内容の要約、レジュメやレポートの記述、プレゼンテーション等の発表、ディスカッション等）を習得する。

2.3 授業の目的・ねらい

大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

2.4 毎回の授業テーマ・内容

全15回の内容は、「授業のテーマ」「授業の概要」「授業の目的・ねらい」をふまえ、各学科の専門性をとり入れた内容にする。

2.5 到達目標

- ①大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、学びを見通すことができる。
- ②自身の力で課題に応じた情報や文献を検索することができる。
- ③情報や文献を読解して内容を要約することができる。
- ④構成を意識したレジュメやレポートを作成することができる。

- ⑤効果を意識したプレゼンテーション等の発表をすることができる。
- ⑥ディスカッションを通して自身の考えを再構成することができる。

2.6 受講者へのアドバイス・留意事項・課題

学びのコミュニティをつくとともに、大学での学びの基礎となる授業です。「毎回の授業テーマ・内容」にあるように自律的な学習が求められます。自律的に受講して下さい。

2.7 成績評価の基準

内容の理解と習得：60%，出席：30%，受講態度：10%

(試験・レポート・作成したレジュメ・発表・ディスカッションの様子などを総合して評価します。)



3. 各学科のシラバス

3.1 仏教学科

入門ゼミ 1 H a

授業科目	入門ゼミ 1				
開講学期	春学期	クラス	-	単位	2
曜日・講時	水・1				
担当者	田中 典彦 (たなか のりひこ)				

■授業のテーマ

大学での「学び」を考え、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■授業の概要

仏教学科の教育内容を理解するとともに、大学で自律的に学ぶことを見通し、基本的な学び方（課題に応じた情報や文献の検索、読解及び内容の要約、レジюмеやレポートの記述、プレゼンテーション等の発表、ディスカッション等）を習得する。

■授業の目的・ねらい

大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■毎回の授業テーマ・内容

- 第1回 講義の概要説明
- 第2回 大学での学び
- 第3回 図書館の使い方
- 第4回 資料（新聞記事を使って）の読み方①
- 第5回 資料（新聞記事を使って）の読み方②
- 第6回 辞書類の使い方①
- 第7回 辞書類の使い方②
- 第8回 資料の検索の仕方①
- 第9回 資料の検索の仕方②
- 第10回 発表資料の作成①
- 第11回 発表資料の作成②
- 第12回 発表とレポートの作成①
- 第13回 発表とレポートの作成②
- 第14回 発表とレポートの作成③
- 第15回 授業のまとめ

■到達目標

- ① 大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、学びを見通すことができる。
- ② 自身の力で課題に応じた情報や文献を検索することができる。
- ③ 情報や文献を読解して内容を要約することができる。
- ④ 構成を意識したレジюмеやレポートを作成することができる。
- ⑤ 効果を意識したプレゼンテーション等の発表をすることができる。
- ⑥ ディスカッションを通して自身の考えを再構成することができる。

■受講者へのアドバイス・留意事項・課題

学びのコミュニティーをつくとともに、大学での学びの基礎となる授業です。「毎回の授業テーマ・内容」にあるように自律的な学習が求められます。自律的に受講して下さい。

■成績評価の基準

- 定期試験（課題） 70%
- 授業内発表 30%

■受講者から担当者への連絡方法

オフィスアワーに研究室での面談。

3.2 日本文学科

入門ゼミ 1 H a

授業科目	入門ゼミ 1				
開講学期	春学期	クラス	-	単位	2
曜日・講時	木・4				
担当者	有田 和臣 (ありた かずおみ)				

■授業のテーマ

大学での「学び」を考え、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■授業の概要

日本文学科の教育内容を理解するとともに、大学で自律的に学ぶことを見通し、基本的な学び方（課題に応じた情報や文献の検索、読解及び内容の要約、レジュメやレポートの記述、プレゼンテーション等の発表、ディスカッション等）を習得する。

■授業の目的・ねらい

大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■毎回の授業テーマ・内容

- 第1回 授業概要の説明 自己紹介
- 第2回 日本文学科への誘い：日本文学科の教育内容の紹介 大学での学びの見通し
- 第3回 ノートの取り方
- 第4回 文献の探し方（図書館の利用法 文献探索の方法 資料収集の方法）①
- 第5回 文献の探し方（図書館の利用法 文献探索の方法 資料収集の方法）②
- 第6回 読解の仕方①
- 第7回 読解の仕方②
- 第8回 レジュメ作成の仕方
- 第9回 レジュメを使った発表の仕方
- 第10回 レジュメの発表とディスカッション①
- 第11回 レジュメの発表とディスカッション②
- 第12回 レジュメの発表とディスカッション③
- 第13回 レポートの書き方①
- 第14回 レポートの書き方②
- 第15回 授業の振り返りとまとめ

■到達目標

- ① 大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、学びを見通すことができる。
- ② 自身の力で課題に応じた情報や文献を検索することができる。
- ③ 情報や文献を読解して内容を要約することができる。
- ④ 構成を意識したレジュメやレポートを作成することができる。
- ⑤ 効果を意識したプレゼンテーション等の発表をすることができる。
- ⑥ ディスカッションを通して自身の考えを再構成することができる。

■受講者へのアドバイス・留意事項・課題

学びのコミュニティーをつくとともに、大学での学びの基礎となる授業です。「毎回の授業テーマ・内容」にあるように自律的な学習が求められます。自律的に受講して下さい。

■成績評価の基準

定期試験（課題）	50%	
授業内発表	30%	
受講態度	20%	授業に出席していることを前提とします。

■テキストについて

指定のテキストを必ず購入し、毎回持参すること。

『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ』（くろしお出版）1,890円

■受講者から担当者への連絡方法

授業中に指示する。

3.3 中国学科

入門ゼミ1H I

授業科目	入門ゼミ1				
開講学期	春学期	クラス	-	単位	2
曜日・講時	火・2				
担当者	瀬邊 啓子（せべ けいこ）				

■授業のテーマ

大学での「学び」を考え、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■授業の概要

中国学科の教育内容を理解するとともに、大学で自律的に学ぶことを見通し、基本的な学び方（課題に応じた情報や文献の検索、読解及び内容の要約、レジュメやレポートの記述、プレゼンテーション等の発表、ディスカッション等）を習得する。

■授業の目的・ねらい

大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■毎回の授業テーマ・内容

- 第1回 授業の概要の説明、自己紹介
- 第2回 中国学科を志望した動機、学びたいこと、教員のコメント
- 第3回 中国学科の授業の紹介、中国語の学習について
- 第4回 全学共通科目の海外研修（中国語）について
- 第5回 中国語学習における疑問点・問題点とその解決方法（1）
- 第6回 中国語学習における疑問点・問題点とその解決方法（2）
- 第7回 中国語学習における疑問点・問題点とその解決方法（3）
- 第8回 中国語学習における疑問点・問題点とその解決方法（4）
- 第9回 文献の探し方（1）
- 第10回 文献の探し方（2）
- 第11回 レジュメとレポートの作成法
- 第12回 レポート作成と教員のコメント（1）
- 第13回 レポート作成と教員のコメント（2）
- 第14回 レポート作成と教員のコメント（3）
- 第15回 春学期の学習についてのまとめとアドバイス

■到達目標

- ① 大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、学びを見通すことができる。
- ② 自身の力で課題に応じた情報や文献を検索することができる。
- ③ 情報や文献を読解して内容を要約することができる。
- ④ 構成を意識したレジュメやレポートを作成することができる。
- ⑤ 効果を意識したプレゼンテーション等の発表をすることができる。
- ⑥ ディスカッションを通して自身の考えを再構成することができる。

■受講者へのアドバイス・留意事項・課題

学びのコミュニティーをつくとともに、大学での学びの基礎となる授業です。「毎回の授業テーマ・内容」にあるように自律的な学習が求められます。自律的に受講して下さい。

■成績評価の基準

授業内発表	60%
授業出席	30%
受講態度	10%

■受講者から担当者への連絡方法

参考文献については授業中に教員から指示する。

3.4 英米学科

入門ゼミ 1 H w					
授業科目	入門ゼミ 1				
開講学期	春学期	クラス	-	単位	2
曜日・講時	金・3				
担当者	松本 真治 (まつもと しんじ)				

■授業のテーマ

大学での「学び」を考え、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■授業の概要

英米学科の教育内容を理解するとともに、大学で自律的に学ぶことを見通し、基本的な学び方（課題に応じた情報や文献の検索、読解及び内容の要約、レジюмеやレポートの記述、プレゼンテーション等の発表、ディスカッション等）を習得する。

■授業の目的・ねらい

大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■毎回の授業テーマ・内容

- 第1回 Introduction（授業の計画・概要・方法、レジюмеの書き方）
- 第2回 テキスト読解（1）
- 第3回 テキスト読解（2）
- 第4回 合同ゼミ（1）
- 第5回 テキスト読解（3）
- 第6回 テキスト読解（4）
- 第7回 資料検索の方法とプレゼンテーションの基礎
- 第8回 プレゼンテーション（1）
- 第9回 テキスト読解（5）
- 第10回 テキスト読解（6）
- 第11回 合同ゼミ（2）
- 第12回 テキスト読解（7）
- 第13回 テキスト読解（8）
- 第14回 プレゼンテーション（2）
- 第15回 まとめ

■到達目標

- ① 大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、学びを見通すことができる。
- ② 自身の力で課題に応じた情報や文献を検索することができる。
- ③ 情報や文献を読解して内容を要約することができる。
- ④ 構成を意識したレジюмеやレポートを作成することができる。
- ⑤ 効果を意識したプレゼンテーション等の発表をすることができる。
- ⑥ ディスカッションを通して自身の考えを再構成することができる。

■受講者へのアドバイス・留意事項・課題

学びのコミュニティーをつくとともに、大学での学びの基礎となる授業です。「毎回の授業テーマ・内容」にあるように自律的な学習が求められます。自律的に受講して下さい。

■成績評価の基準

授業内試験	60%
授業内課題	30%
受講態度	10%

3.5 歴史学科

入門ゼミ 1 H a

授業科目	入門ゼミ 1				
開講学期	春学期	クラス	-	単位	2
曜日・講時	火・2				
担当者	貝 英幸 (かい ひでゆき)				

■授業のテーマ

大学での「学び」を考え、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■授業の概要

歴史学科の教育内容を理解するとともに、大学で自律的に学ぶことを見通し、基本的な学び方（課題に応じた情報や文献の検索、読解及び内容の要約、レジюмеやレポートの記述、プレゼンテーション等の発表、ディスカッション等）を習得する。

■授業の目的・ねらい

大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■毎回の授業テーマ・内容

- 第1回 授業概要の説明/入門ゼミの位置づけ、教員紹介、自己紹介
- 第2回 歴史学科への誘い/大学での学びの見通しと学習目標
- 第3回 歴史学科への誘い/学部教育の見通し（講義体系）と学習計画
- 第4回 文献の探し方①/図書館・資料室（学習情報プラザ）の利用とその方法
- 第5回 文献の探し方②/図書館での文献検索（OPACとポータルサイト）
- 第6回 文献の探し方③/事典・辞書（研究工具）の使い方、調べ方
- 第7回 レジюме作成の方法/レジюмеとは？体裁と書式
- 第8回 レジюмеを使った発表の仕方/レジюмеの構成要件（ロジックとトピック）、参考文献一覧
- 第9回 レジюмеの発表とディスカッション①/課題の調査結果の報告と議論、評価
- 第10回 レジюмеの発表とディスカッション②/課題の調査結果の報告と議論、評価
- 第11回 レジюмеの発表とディスカッション③/課題の調査結果の報告と議論、評価
- 第12回 レジюмеの発表とディスカッション④/課題の調査結果の報告と議論、評価
- 第13回 レポートの書き方①/記述の方法（パラグラフライティング・テクニカルライティング）
- 第14回 レポートの書き方②/成果のまとめとレポートの構成（ロジックとトピックセンテンス）
- 第15回 授業の振り返りとまとめ

■到達目標

- ① 大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、学びを見通すことができる。
- ② 自身の力で課題に応じた情報や文献を検索することができる。
- ③ 情報や文献を読解して内容を要約することができる。
- ④ 構成を意識したレジюмеやレポートを作成することができる。
- ⑤ 効果を意識したプレゼンテーション等の発表をすることができる。
- ⑥ ディスカッションを通して自身の考えを再構成することができる。

■受講者へのアドバイス・留意事項・課題

学びのコミュニティーをつくとともに、大学での学びの基礎となる授業です。「毎回の授業テーマ・内容」にあるように自律的な学習が求められます。自律的に受講して下さい。

■成績評価の基準

定期試験（課題）	30%
授業内発表	20%
授業出席	30%
受講態度	20%

3.6 歴史文化学科

入門ゼミ 1 H f					
授業科目	入門ゼミ 1				
開講学期	春学期	クラス	-	単位	2
曜日・講時	火・2				
担当者	渡邊 秀一（わたなべ ひでかず）				

■授業のテーマ

大学での「学び」を考え、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■授業の概要

歴史文化学科の教育内容を理解するとともに、大学で自律的に学ぶことを見通し、基本的な学び方（課題に応じた情報や文献の検索、読解及び内容の要約、レジюмеやレポートの記述、プレゼンテーション等の発表、ディスカッション等）を習得する。

■授業の目的・ねらい

大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■毎回の授業テーマ・内容

- 第1回 授業概要の説明/入門ゼミの位置づけ、教員紹介、自己紹介
- 第2回 歴史文化学科への誘い/大学での学びの見通しと学習目標
- 第3回 歴史文化学科への誘い/学部教育の見通し（講義体系）と学習計画
- 第4回 文献の探し方①/図書館・資料室（学習情報プラザ）の利用とその方法
- 第5回 文献の探し方②/図書館での文献検索（OPACとポータルサイト）
- 第6回 文献の探し方③/事典・辞書（研究工具）の使い方、調べ方
- 第7回 レジюме作成の方法/レジюмеとは？体裁と書式
- 第8回 レジюмеを使った発表の仕方/レジюмеの構成要件（ロジックとトピック）、参考文献一覧
- 第9回 レジюмеの発表とディスカッション①/課題の調査結果の報告と議論、評価
- 第10回 レジюмеの発表とディスカッション②/課題の調査結果の報告と議論、評価
- 第11回 レジюмеの発表とディスカッション③/課題の調査結果の報告と議論、評価
- 第12回 レジюмеの発表とディスカッション④/課題の調査結果の報告と議論、評価
- 第13回 レポートの書き方①/記述の方法（パラグラフライティング・テクニカルライティング）
- 第14回 レポートの書き方②/成果のまとめとレポートの構成（ロジックとトピックセンテンス）
- 第15回 授業の振り返りとまとめ

■到達目標

- ① 大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、学びを見通すことができる。
- ② 自身の力で課題に応じた情報や文献を検索することができる。
- ③ 情報や文献を読解して内容を要約することができる。
- ④ 構成を意識したレジюмеやレポートを作成することができる。
- ⑤ 効果を意識したプレゼンテーション等の発表をすることができる。
- ⑥ ディスカッションを通して自身の考えを再構成することができる。

■受講者へのアドバイス・留意事項・課題

学びのコミュニティーをつくとともに、大学での学びの基礎となる授業です。「毎回の授業テーマ・内容」にあるように自律的な学習が求められます。自律的に受講して下さい。

■成績評価の基準

定期試験（課題）	30%
授業内発表	20%
授業出席	30%
受講態度	20%

3.7 教育学科

入門ゼミ 1 H i

授業科目	入門ゼミ 1				
開講学期	春学期	クラス	-	単位	2
曜日・講時	水・3				
担当者	達富 洋二 (たつとみ ようじ)				

■授業のテーマ

大学での「学び」を考え、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■授業の概要

教育学科の教育内容を理解するとともに、大学で自律的に学ぶことを見通し、基本的な学び方（課題に応じた情報や文献の検索、読解及び内容の要約、レジュメやレポートの記述、プレゼンテーション等の発表、ディスカッション等）を習得する。

■授業の目的・ねらい

大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■毎回の授業テーマ・内容

- 第1回 学びのコミュニティーづくり
- 第2回 学びのデザインづくり
- 第3回 文献検索やリーディングの方法
- 第4回 文献検索やリーディングの演習
- 第5回 文献検索やリーディングの評価
- 第6回 レジュメやライティングの方法
- 第7回 レジュメやライティングの演習
- 第8回 レジュメやライティングの評価
- 第9回 プレゼンテーションの方法
- 第10回 プレゼンテーションの演習
- 第11回 プレゼンテーションの評価
- 第12回 ディスカッションの方法
- 第13回 ディスカッションの演習
- 第14回 ディスカッションの評価
- 第15回 学びの総括

■到達目標

- ・大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、学びを見通すことができる。
- ・自身の力で課題に応じた情報や文献を検索することができる。
- ・情報や文献を読解して内容を要約することができる。
- ・構成を意識したレジュメやレポートを作成することができる。
- ・効果を意識したプレゼンテーション等の発表をすることができる。
- ・ディスカッションを通して自身の考えを再構成することができる。

■受講者へのアドバイス・留意事項・課題

- ・学びのコミュニティーをつくとともに、大学での学びの基礎となる授業です。
- ・「毎回の授業テーマ・内容」にあるように自律的な学習が求められます。
- ・自律的に受講すること。
- ・それぞれのクラスによって若干の内容の再構成があります。
- ・それぞれのクラスによって扱う教材は異なることがあります。

■成績評価の基準

授業内課題	60%
授業出席	30%
受講態度	10%

■テキストについて

資料を配付する。

■参考文献について

授業中に紹介する。

■受講者から担当者への連絡方法

オフィスアワー時に研究室に来ること。

3.8 臨床心理学科

入門ゼミ 1 H t					
授業科目	入門ゼミ 1				
開講学期	春学期	クラス	-	単位	2
曜日・講時	水・3				
担当者	牧 剛史 (まき たけし)				

■授業のテーマ

大学での「学び」を考え、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■授業の概要

臨床心理学科の教育内容を理解するとともに、大学で自律的に学ぶことを見通し、基本的な学び方（課題に応じた情報や文献の検索、読解及び内容の要約、レジюмеやレポートの記述、プレゼンテーション等の発表、ディスカッション等）を習得する。

■授業の目的・ねらい

大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■毎回の授業テーマ・内容

- 第1回 授業概要の説明 自己紹介 学びのコミュニティ作り
- 第2回 臨床心理学科への誘い：大学での学びの見通し① - 教員から学ぶ-
- 第3回 臨床心理学科への誘い：大学での学びの見通し② - 先輩から学ぶ-
- 第4回 テーマの検討（臨床心理学に関わる内的な関心を明確化する）①
- 第5回 テーマの検討（臨床心理学に関わる内的な関心を明確化する）②
- 第6回 文献の探し方（図書館の利用法 文献検索の方法 資料収集の方法）
- 第7回 文献の解読とレジюмеの作成①
- 第8回 文献の解読とレジюмеの作成②
- 第9回 レジюмеの発表とディスカッション①
- 第10回 レジюмеの発表とディスカッション②
- 第11回 レジюмеの発表とディスカッション③
- 第12回 グループワーク（臨床心理学への理解、関心を深める）①
- 第13回 グループワーク（臨床心理学への理解、関心を深める）②
- 第14回 グループワーク（臨床心理学への理解、関心を深める）③
- 第15回 授業の振り返りとまとめ

■到達目標

- ① 大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、学びを見通すことができる。
- ② 自身の力で課題に応じた情報や文献を検索することができる。
- ③ 情報や文献を読解して内容を要約することができる。
- ④ 構成を意識したレジюмеやレポートを作成することができる。
- ⑤ 効果を意識したプレゼンテーション等の発表をすることができる。
- ⑥ ディスカッションを通して自身の考えを再構成することができる。

■受講者へのアドバイス・留意事項・課題

学びのコミュニティをつくるとともに、大学での学びの基礎となる授業です。「毎回の授業テーマ・内容」にあるように自律的な学習が求められます。自律的に受講して下さい。

■成績評価の基準

授業内発表	50%
授業出席	40%
受講態度	10%

3.9 現代社会学科・公共政策学科

社会学入門ゼミ 1 H a

授業科目	社会学入門ゼミ 1				
開講学期	春学期	クラス	-	単位	2
曜日・講時	木・1				
担当者	山口 洋 (やまぐち よう)				

■授業のテーマ

大学での「学び」を考え、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■授業の概要

現代社会学科・公共政策学科の教育内容を理解するとともに、大学で自律的に学ぶことを見通し、基本的な学び方（課題に応じた情報や文献の検索、読解及び内容の要約、レジュメやレポートの記述、プレゼンテーション等の発表、ディスカッション等）を習得する。

■授業の目的・ねらい

大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■毎回の授業テーマ・内容

- 第1回 教員の自己紹介、学生の自己紹介等。
- 第2回 社会学部、および各学科、コースの教育内容の簡単な紹介。大学での学び方全般。
- 第3回 大学の講義とは。ノートの取り方、活用法。
- 第4回 情報収集入門（メディア・リテラシー、本の探し方、雑誌や新聞の利用、統計データの活用、インターネットの利用等）①
- 第5回 情報収集入門（メディア・リテラシー、本の探し方、雑誌や新聞の利用、統計データの活用、インターネットの利用等）②
- 第6回 情報収集入門（メディア・リテラシー、本の探し方、雑誌や新聞の利用、統計データの活用、インターネットの利用等）③
- 第7回 情報収集入門（メディア・リテラシー、本の探し方、雑誌や新聞の利用、統計データの活用、インターネットの利用等）④
- 第8回 学術的な文章の特徴とその読み方①
- 第9回 学術的な文章の特徴とその読み方②
- 第10回 議論の作法。論理的に考え、生産的に議論するということ。
- 第11回 レポートの作成について①
- 第12回 レポートの作成について②
- 第13回 プレゼンテーションの方法①
- 第14回 プレゼンテーションの方法②
- 第15回 全体のまとめ、補足。

■到達目標

- ① 大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、学びを見通すことができる。
- ② 自身の力で課題に応じた情報や文献を検索することができる。
- ③ 情報や文献を読解して内容を要約することができる。
- ④ 構成を意識したレジュメやレポートを作成することができる。
- ⑤ 効果を意識したプレゼンテーション等の発表をすることができる。
- ⑥ ディスカッションを通して自身の考えを再構成することができる。

■受講者へのアドバイス・留意事項・課題

学びのコミュニティをつくるとともに、大学での学びの基礎となる授業です。「毎回の授業テーマ・内容」にあるように自律的な学習が求められます。自律的に受講して下さい。

■成績評価の基準

定期試験（課題）	30%
授業内発表	30%
授業出席	30%
受講態度	10%

■テキストについて

以下のテキストを、授業開始日までに必ず購入すること。

『知のツールボックス』 専修大学出版企画委員会編（専修大学出版局） 735

■参考文献について

適宜、指示する。

3.10 社会福祉学科

社会福祉入門ゼミ 1 H a

授業科目	社会福祉入門ゼミ 1				
開講学期	春学期	クラス	-	単位	2
曜日・講時	水・1				
担当者	阿部 祥子（あべ さちこ）				

■授業のテーマ

大学での「学び」を考え、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■授業の概要

社会福祉学科の教育内容を理解するとともに、大学で自律的に学ぶことを見通し、基本的な学び方（課題に応じた情報や文献の検索、読解及び内容の要約、レジュメやレポートの記述、プレゼンテーション等の発表、ディスカッション等）を習得する。

■授業の目的・ねらい

大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■毎回の授業テーマ・内容

- 第1回 授業概要の説明…自己紹介 学びのコミュニティづくり
- 第2回 社会福祉学部への誘い～教員から学ぶ～
…学部の教育内容の紹介（教育理念・科目編成・履修方法・資格・単位・学習方法についてのガイダンス）大学での学びの見通し①
- 第3回 社会福祉学部への誘い～先輩から学ぶ～
…学部の教育内容の紹介（各種実習、福祉現場インターンシップ、コンソーシアム・大学インターンシップ、地域福祉プログラム、サービスマーケティング等へのとりくみ）大学での学びの見通し②
- 第4回 情報収集方法（図書館の利用方法 文献検索の方法 情報収集の方法）①
- 第5回 情報収集方法（図書館の利用方法 文献検索の方法 情報収集の方法）②
- 第6回 社会福祉の現実を学ぶ① 当事者の抱える生活問題についての学習…問題の背景になるデータ収集等
- 第7回 社会福祉の現実を学ぶ② 当事者の抱える生活問題についての学習…法律・制度・サービスの理解等
- 第8回 社会福祉の現実を学ぶ③ 当事者から学ぶ
- 第9回 レジュメの作成とディスカッション①
- 第10回 レジュメの作成とディスカッション②
- 第11回 レジュメの作成とディスカッション③
- 第12回 レジュメの作成とディスカッション④
- 第13回 レジュメの作成とディスカッション⑤
- 第14回 学びの見通しをもつ～福祉関連資格についてのガイダンス～（合同講義）
- 第15回 授業の振り返りと夏の課題設定

■到達目標

- ① 大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、学びを見通すことができる。
- ② 自身の力で課題に応じた情報や文献を検索することができる。
- ③ 情報や文献を読解して内容を要約することができる。
- ④ 構成を意識したレジュメやレポートを作成することができる。
- ⑤ 効果を意識したプレゼンテーション等の発表をすることができる。
- ⑥ ディスカッションを通して自身の考えを再構成することができる。

■受講者へのアドバイス・留意事項・課題

学びのコミュニティをつくとともに、大学での学びの基礎となる授業です。「毎回の授業テーマ・内容」にあるように自律的な学習が求められます。自律的に受講して下さい。

■成績評価の基準

その他 100% 「到達目標」に基づき、出席、提出されたレジュメ、発表とディスカッションの様子などを総合的に評価します。

■参考文献について

- 『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ 改訂版』 学習技術研究会編（くろしお出版） 1,800円
- 『知のツールボックス』 専修大学出版企画委員会編（専修大学出版局） 630円
- 『レポート・論文・プレゼン スキルズ』 石橋春秋（くろしお出版） 1,400円

■受講者から担当者への連絡方法

授業の際に指示します。

3.11 理学療法学科

入門ゼミ 1 H a					
授業科目	入門ゼミ 1				
開講学期	春学期	クラス	-	単位	2
曜日・講時	水・2				
担当者	石井 光昭 (いしい みつあき), 越智 淳子 (おち じゅんこ), 日下 隆一 (くさか りゅういち), 白星 伸一 (しらほし しんいち), 得丸 敬三 (とくまる けいぞう)				

■授業のテーマ

大学での「学び」を考え、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■授業の概要

理学療法学科の教育内容を理解するとともに、大学で自律的に学ぶことを見通し、基本的な学び方（課題に応じた情報や文献の検索、読解及び内容の要約、レジュメやレポートの記述、プレゼンテーション等の発表、ディスカッション等）を習得する。

■授業の目的・ねらい

大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■毎回の授業テーマ・内容

- 第1回 理学療法の学び 1
- 第2回 理学療法の学び 2
- 第3回 理学療法の学び方
- 第4回 スタディー・スキルズの実際 1 (Reading1)
- 第5回 スタディー・スキルズの実際 2 (Reading2)
- 第6回 スタディー・スキルズの実際 3 (Writing1)
- 第7回 スタディー・スキルズの実際 4 (Writing2)
- 第8回 スタディー・スキルズの実際 5 (情報収集)
- 第9回 スタディー・スキルズの実際 6 (情報の整理とまとめ)
- 第10回 スタディー・スキルズの実際 7 (Presentation の基本)
- 第11回 スタディー・スキルズの実際 8 (Presentation の実際 1)
- 第12回 スタディー・スキルズの実際 9 (Presentation の実際 2)
- 第13回 スタディー・スキルズの実際 10 (Presentation の実際 3)
- 第14回 スタディー・スキルズの実際 11 (Communication Skills)
- 第15回 授業の評価と学習計画

■到達目標

- ① 大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、学びを見通すことができる。
- ② 自身の力で課題に応じた情報や文献を検索することができる。
- ③ 情報や文献を読解して内容を要約することができる。
- ④ 構成を意識したレジュメやレポートを作成することができる。
- ⑤ 効果を意識したプレゼンテーション等の発表をすることができる。
- ⑥ ディスカッションを通して自身の考えを再構成することができる。

■受講者へのアドバイス・留意事項・課題

学びのコミュニティーをつくとともに、大学での学びの基礎となる授業です。「毎回の授業テーマ・内容」にあるように自律的な学習が求められます。自律的に受講して下さい。

■成績評価の基準

定期試験（教室）	50%
授業出席	50%

3.12 作業療法学科

入門ゼミ 1 H b					
授業科目	入門ゼミ 1				
開講学期	春学期	クラス	-	単位	2
曜日・講時	木・3				
担当者	荻山 和生 (かりやま かずお), 木戸 隆宏 (きど たかひろ)				

■授業のテーマ

大学での「学び」を考え、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■授業の概要

作業療法学科の教育内容を理解するとともに、大学で自律的に学ぶことを見通し、基本的な学び方（課題に応じた情報や文献の検索、読解及び内容の要約、レジュメやレポートの記述、プレゼンテーション等の発表、ディスカッション等）を習得する。

■授業の目的・ねらい

大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、基本的な学び方（アカデミック・スキル）を習得する。

■毎回の授業テーマ・内容

- 第1回 ガイダンス（その1） -学びの手順-
- 第2回 ガイダンス（その2） -実習とは-
- 第3回 オリエンテーション（その1） -学びの動機付け-
- 第4回 オリエンテーション（その2） -学びの動機付け-
- 第5回 オリエンテーション（その3） -学びの動機付け-
- 第6回 コミュニケーションの基本
- 第7回 コミュニケーションの目的と媒体
- 第8回 図書館の利用法
- 第9回 記録の取り方
- 第10回 コミュニケーションの落とし穴
- 第11回 コミュニケーション問題の解決法
- 第12回 グループ内でのコミュニケーションスキル
- 第13回 グループ発表（その1）
- 第14回 グループ発表（その2）
- 第15回 まとめ

■到達目標

- ① 大学で自律的に学ぶことの心構えをもち、学びを見通することができる。
- ② 自身の力で課題に応じた情報や文献を検索することができる。
- ③ 情報や文献を読解して内容を要約することができる。
- ④ 構成を意識したレジュメやレポートを作成することができる。
- ⑤ 効果を意識したプレゼンテーション等の発表をすることができる。
- ⑥ ディスカッションを通して自身の考えを再構成することができる。

■受講者へのアドバイス・留意事項・課題

学びのコミュニティをつくるとともに、大学での学びの基礎となる授業です。「毎回の授業テーマ・内容」にあるように自律的な学習が求められます。自律的に受講して下さい。

■成績評価の基準

授業内発表	50%
授業出席	50%